


紅い瞳に
しるみのは


FOR ADULT ONLY

草木も眠る
丑三つ時——

紅い瞳にうつるのは

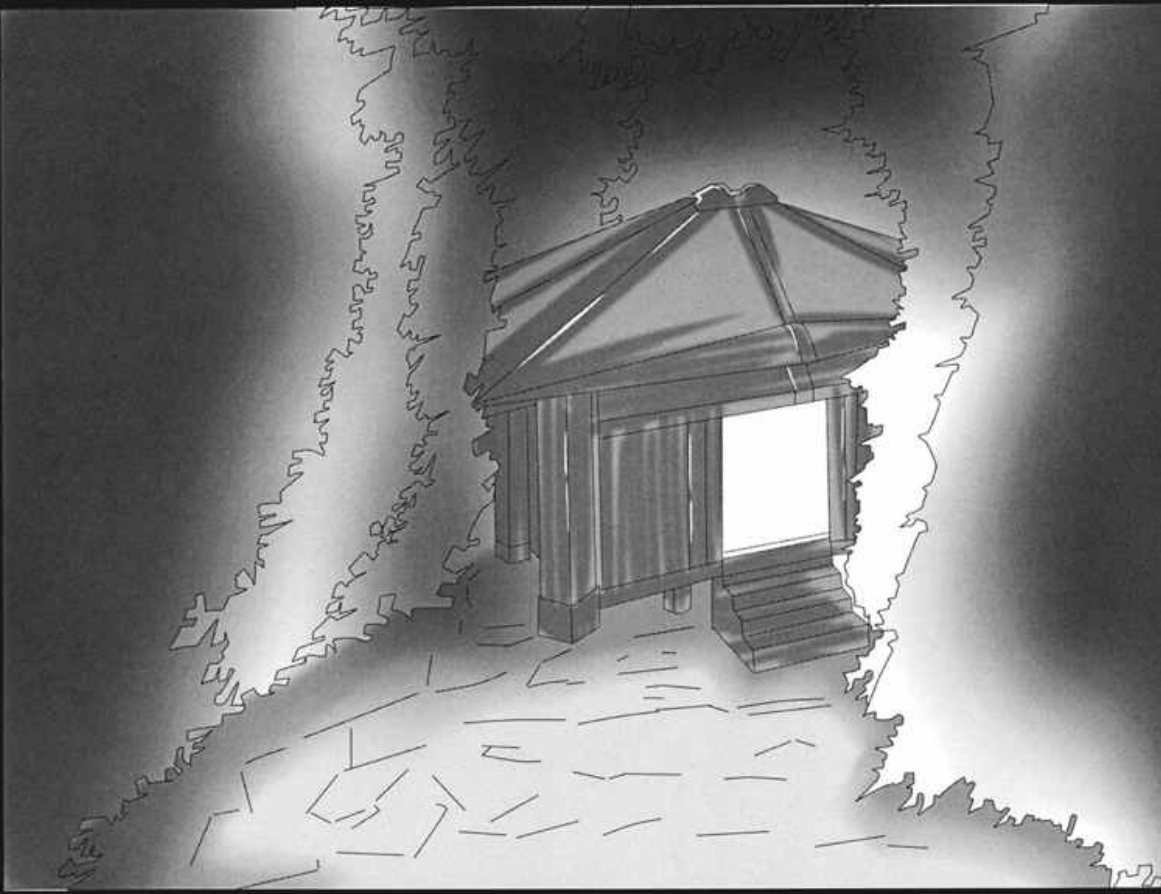


その足取りは静々ながら、
迷いはなく、ただ、
まっすぐに。



しんと静まり返った
森の中、歩みを進める
一人の少女。

少女が辿り着くは、
古い社。



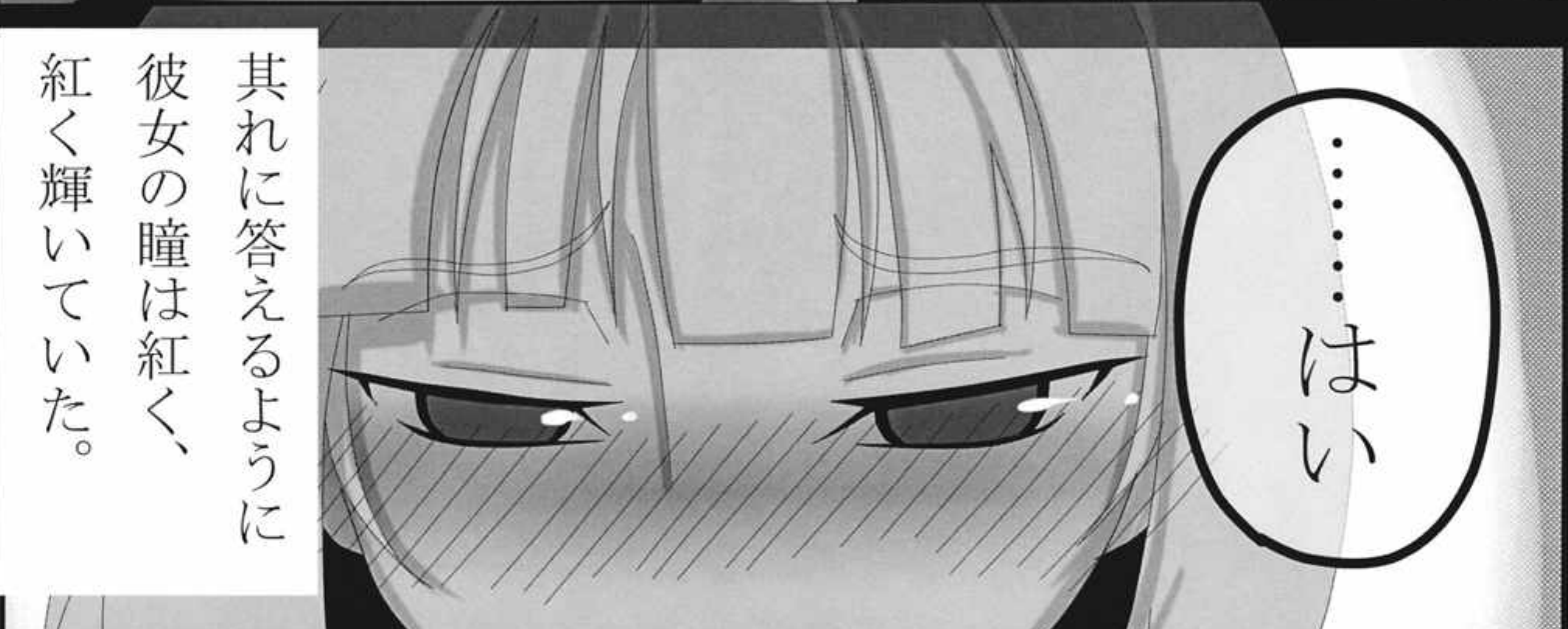
…やあ。
いっしょしゃい

言い付け通りに

してきたかい？



何故、態々
斯様な処へ？



……はい

其れに答えるように
彼女の瞳は紅く、
紅く輝いていた。

…フワッ

フワッ…

グワッ…

す

…確かに。言われたとおり
下着はつけてきていないようだな。

ちゃんと
守れて偉いぞ。

…変態ちゃん。

ヒクッ

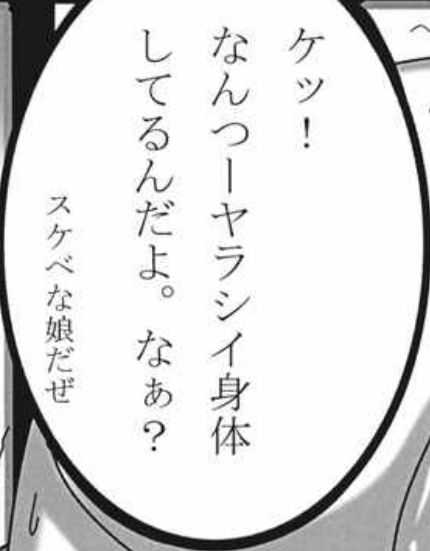
ボツッ…



ほれ、煽られた
だけで

こんなに濡れて
きてやがる

ぬるる



ケツ!
なんつーヤラシイ身体
してるんだよ。なあ?
スケベな娘だぜ



こんな
幼いナリして
ケツだけは
ムチムチ肉が付いて
やがるぜ



なあ?まだ大して
いじってないってのに、
この濡れ方はなんだよ?

かああ

ぬるる

オラ、そこに手を付いて
ケツ振ってみせな。



は、はい…
こ、こうですか…？

あ

は

ハッ…

むちゅ

むちゅ

むちゅ



あつ！そ、そんな
出し入れしちゃ…っ

オラツ！

ピクッ

つたく、
筋金入りの淫乱だな！

ピクッ！

ぐんぐん

ぬ
ぽ
い
く
る
ず
る

ず
る
ず
る

あ



おいおい、もうかよ。
もう気をやっちまった。
スケベすぎるだろ♡



おい、嬢ちゃん、余韻に
浸ってるところ悪いけどよ、
コイツに着替えてくんねえか



ドキ

お、お待たせしました
は、履きました：けど

みんなによく見えるように、
ケツを突き出すんだ。
そのやらしいケツをな！

クワツ...

あ

むき

キツ...

は、はい...でも、は、
恥ずかしいです...

あっ

むに

よしよし。お前さんの良い所は
従順なところだな。
さあこっちに来な

よし。
それじゃあお待ちかねだ
いいぞお前ら

そんな...
強く

♡



あつ...!
そんな...急に

挿入れちや...っ!



お、おくっ! 突いちや...

もっふん

もっふん



おっ！すげえ…
ぎゆうぎゆうと
締め付けてきやがる



まったく、すげえ名器だぜ。
ぐ……そ、そろそろやべえ…
出すぜツ！

ぬ、抜いてっ！抜いてくださいっ！
中、きつい…きついのおっ！



あ

あ

あ





あ、あの

お、お手洗いに
行かせてくれませんか…

フシュー…

フシュー…

フシュー…

フシュー…



おう、いいともさ。
先に俺たちを—

満足させて
くれたらな
クククツ

フシュー…

ク…ツ

ゴロロ…



ぐんぐん
うんうん...

そうだ。

頑張ってる所すまねえが、
またこっちに着替えなおして
もらえるかい？

なんの。要は、アンタが
出る前に俺らに出させりや
いいだけだ。

ニーツ...

今まで何度もやってる
ことなんだ。
簡単だろ？

……はい、
わかりました...

ハア...

ハア...

で、では...

...アム...

アム...

は、履きました...
で、では続きを...

アム...

にたあ...

アム...

ず

アム...

じせあ、

頼むわ。

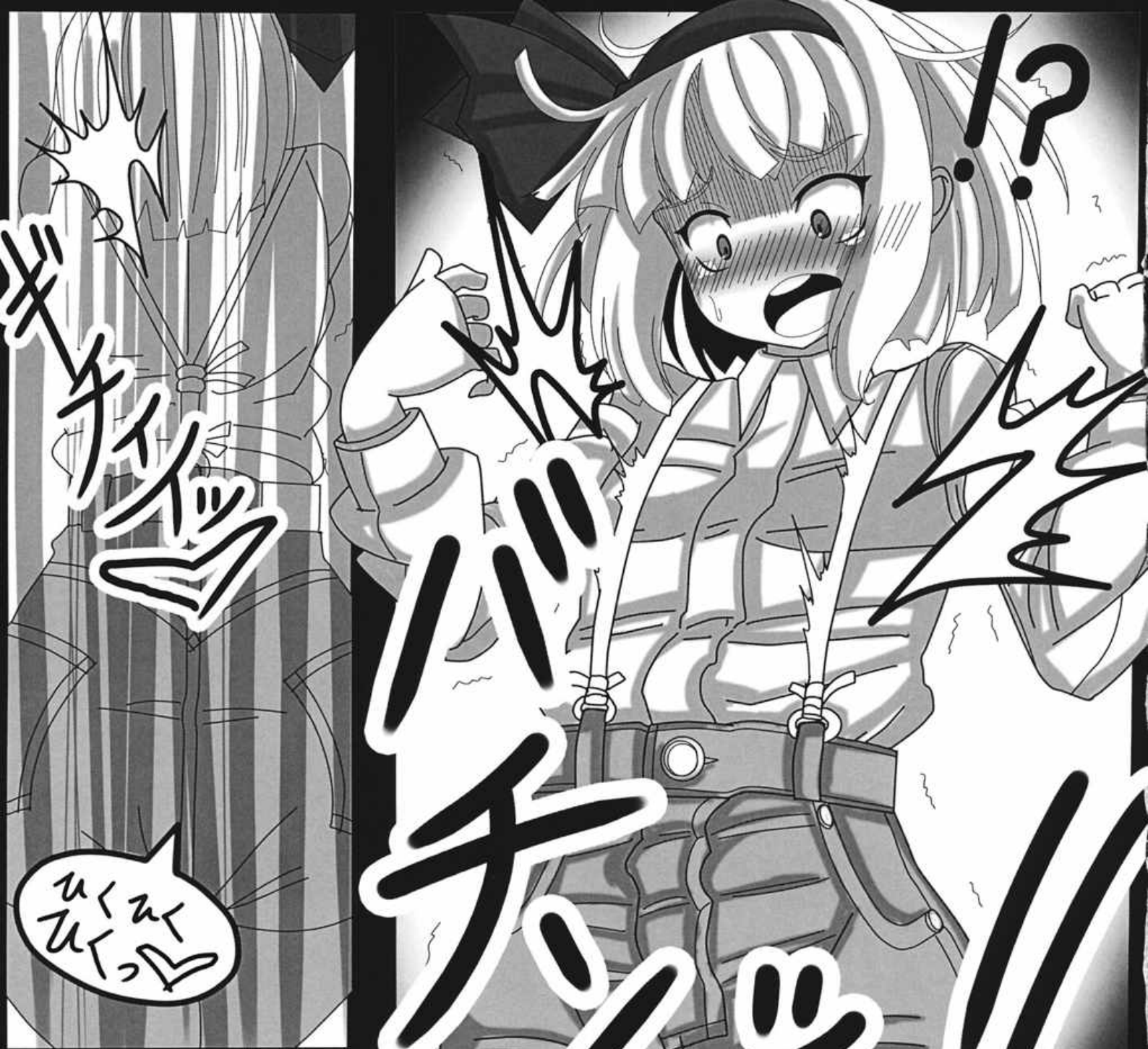
クククッ

アム...

アム...









あぁあぁあぁ

ガッ
ガッ
ガッ

シッ
シッ
シッ

クッ
クッ
クッ

いよおおお

いよろろ

揺らぐ意識の中、小便と自ら
撒き散らした汚物にまみれ、
紅い瞳は何をうつつ——

は……

は……

何を——



—でも、



わっ、私に聞かれても！
さっきスキマに落ちてきたのを拾った
だけよ！まさか、こんな過激なものだった
なんて…

あたふた



なにになになんの
なんなのこれっ！
なんで
うちの妖夢がこんな目に



妖夢にあんな格好
させて、私達でえっちな
いたずらするの

イイかもね。

さすがにあそこまで
いじめはしないけど

だってほら、あの子、いつも仕事を
真面目に頑張ってくれているし、
たまには主人として何か
《ご褒美》をあげたいわ。

だから紫、あの本の
おズボン外から取り寄せて
もらえないかしら？

紫も一緒に、三人で
気持ちいいこと、しましよ？

ゆゆユ
ヤミ
ゆかソミ
まー

いじ
もろろ...

はーい！



あとがき

初めての方は初めまして。むつなりと申します。

この度はこの本を手にとっていただきどうもありがとうございます。

完全個人誌は初になります。何とか完成までこぎつけました。

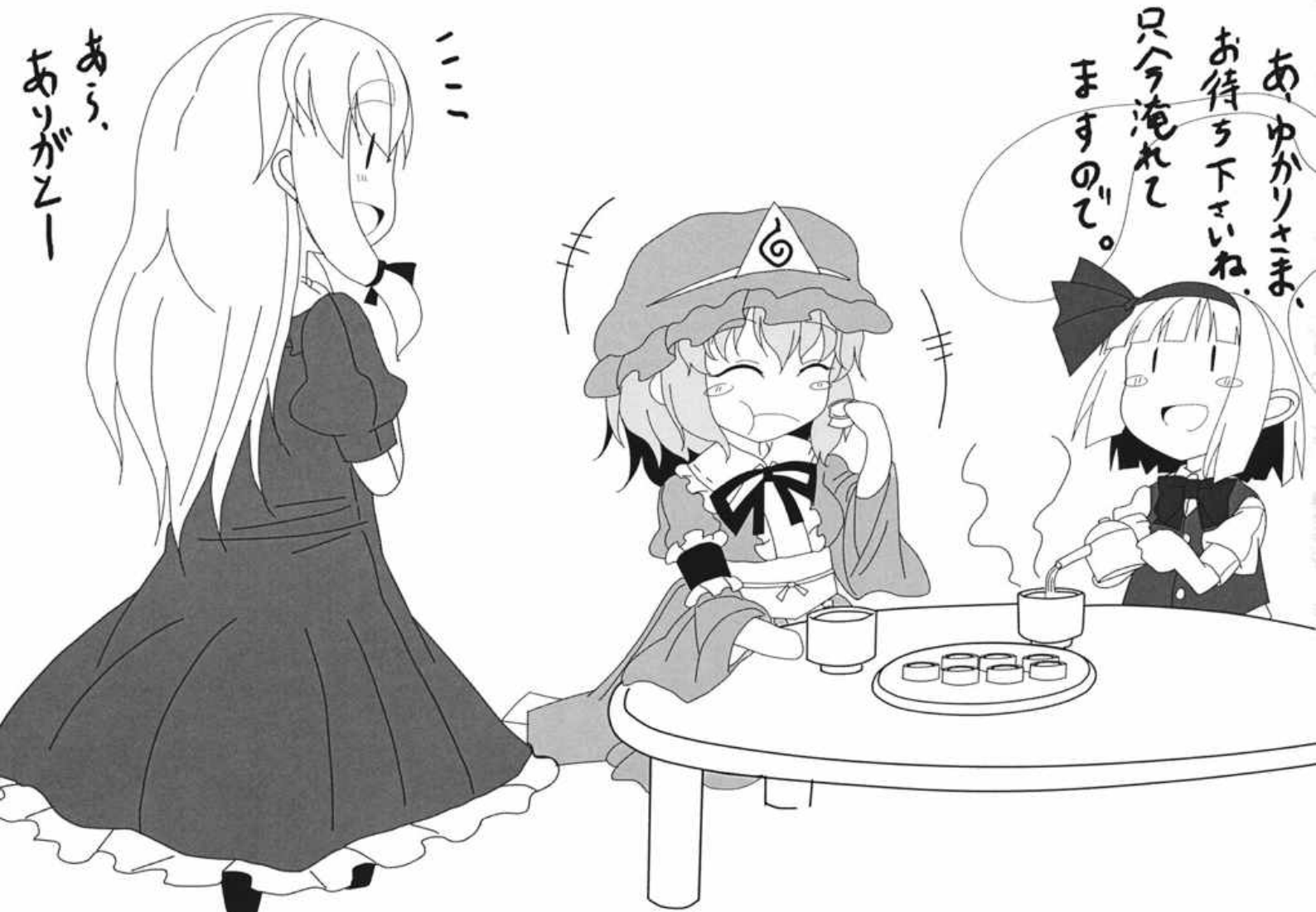
今後も可能な限り本を作って行きたいと思っておりますので、

よろしくお願いいいたします。

次の本はネタの候補がいくつもあるので、そのどれかを煮詰めていこうかなと思っています。

それではまたお会いしましょう！

むつなり=(:8)=



原作：上海アリス幻楽団

発行：むつなり

発効日：2015/10/18

印刷：ねこのしっぽ様

Pixiv：1523787

Twitter：MutunariMw6477





草木も眠る丑三つ時、

森の奥へ足を運んだ妖夢は複数の男共と行為に及ぶ。

何度も汁と羞恥にまみれながらも、

彼女の「紅い瞳」は凜々と輝く。

——宴は、まだ、始まったばかりだ——

提供: さーくる・まっつあお
FOR ADULT ONLY